森林環境譲与税に関する令和２年度の決算状況調査

(1)団体コード	(2)都道府県名	(3)市町村名	(4)事業区分	(5)事業名	(A)+(B)+(C)	(A)森林環境譲与税（千円）	(C)他の財源（千円）	(7)事業内容	森林整備関係							人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用				(タ)その他	(11)税導入の効果
									間伐等実施面積			路網整備			(ク)その他	(ケ)事業体等への助成		(コ)研修、講習、求人イベント等		(サ)その他	(シ)研修や普及啓発イベント等		(ス)その他	(セ)公共施設等の木材利用			(ソ)その他		
									(イ)間伐(ha)	(ウ)除伐(ha)	(エ)その他（作業種、実績値を記載）	(オ)林道・林業専用道の開設延長(m)	(カ)森林作業道の開設延長(m)	(キ)その他（作業種、実績値を記載）		事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		回数（回）	参加者・体験者数（人）		施設数	木材使用量(m3)	うち国産材(m3)		(タ)その他	
015610	北海道	興部町	③ 私有林整備	森林環境保全整備事業	8,855	8,854	1	私有林の間伐事業及び作業道整備 （間伐～北海道の標準単価を使用） （作業道～非公共単価使用 2,000円/m）	24.2					1500m															【ワンフレーズ】 ・間伐事業や森林作業道整備に対し支援を行うことにより木材の流通促進や森林の有する公益的機能の発揮が見込まれる。また、北森カレッジの学生等に対し支援をすることにより今後、森林作業従事者が増加し安定的な森林経営をすることが可能となる。 【詳細】 当町は木材加工業者が無く、木材の町とは言えないため木製品に触れる機会が少ないことから森林環境譲与税を活用し認証材や道産材を使用したテーブル・イス等を不特定多数の人が来場する施設等へ設置することにより、本来木材が持つ温もり等を感じることが出来るほか木材の流通に繋がる。 ドローンを活用することで、施業箇所の状況把握や事業実施後の森林の状況を把握することが可能となるほか、オルソ画像を更新することにより、現況を把握することが可能となる。 後年後における私有林の除伐や保育間伐の計画を樹立しているため私有林森林整備を推進するため、基金に積み立てを行った。
015610	北海道	興部町	⑦ その他（森林整備）	森林環境保全整備事業	2,391	2,390	1	ドローン購入 森林GISの改修							ドローン1台 オルソ画像作成ソフト														
015610	北海道	興部町	⑫ その他（人材育成等）	林業振興一般経費	50	50		北森カレッジ学生への支援												支援金									
015610	北海道	興部町	⑯ その他（木材・普及啓発関係）	森林環境保全整備事業	962	961	1	認証材を活用したスプーンを購入し、ソフトクリーム等の販売店舗に配布し、木材本来の良さを購入者等に理解してもらう。また、プラから木材に変更することにより、脱プラの推進になるとともに、スプーンにHOKKAIDO WOODと各店舗のロゴを彫ることにより、北海道が進めている木材利用や各店舗のアピールが可能となる。														5店舗 1店舗当たり10,000本						
015610	北海道	興部町	⑯ その他（木材・普及啓発関係）	公民館維持管理事業	2,145	2,145		認証林から搬出された材を使用し、公民館ロビーにテーブル、イス等を設置																		テーブル 3台 イス 12脚		
015610	北海道	興部町	⑯ その他（木材・普及啓発関係）	一般管理費一般経費	1,131	1,131		庁舎会議室等に道産材を使用した、テーブルを設置																		テーブル 18台		
015610	北海道	興部町	⑰ 基金積立（森林整備等）	興部町森林振興基金	10,595	10,595		基金積立																					